

J A 山武郡市作柄調査報告（11月号）

報告日:平成29年11月10日(毎月10日発行)
報告者:販売開発部 営農振興課 小棚

【H29年産 秋冬ネギ】

【作柄調査(さんむ中央C管内)】



調査地区	鳴浜
調査日時	2017/11/10
天気	晴れ
品種	夏扇4号
播種日	2017/4/25
定植日	2017/6/10
昨年より4~5日遅れ、11月上旬より出荷開始した。仕上げていたものほど台風の影響は大きいですが、先を考えると手直しするより出荷したほうが良い。年明け分は現在手直し中で、回復の見込み有り。	

【作柄調査(やさいの里管内)】



台風直後の様子

調査地区	蓮沼
調査日時	2017/11/10
天気	晴れ
品種	龍輝
播種日	2017/3/20
定植日	2017/5/15
台風による冠水で、約1週間圃場に入れなかった。倒伏した部分の手直し及び、再度土寄せしたが、当初予定より約1ヶ月遅れ、12月上旬からの出荷を見込んでいる。	

【作付状況及び出荷計画】

ケース=5kg

センター名	地区	栽培面積 (ha)	生産者数 (人)	出荷計画 (ケース)	10月末 出荷実績 (ケース)	計画対比 (%)	主な品種	出荷開始日
さんむ中央		122.0	243	860,000	3,247	0.4%	夏扇4号 夏の宝山 龍ひかり2号 春扇 他	9月14日
やさいの里	第三	40.0	120	245,000	1,174	0.5%		9月25日
	豊岡	3.0	10	17,000	—	—		—
	大総	4.4	13	27,750	—	—		—
東金KC		1.7	11	10,500	—	—		—
大網KC		12.6	21	68,000	2,613	3.8%		10月9日
その他		0.8	4	4,650	575	12.4%		9月24日
合計 (前年比)		184.5 (106.5%)	422 (99.8%)	1,232,900	7,609	0.6%		

《JA山武郡市管内の作柄状況》

10月下旬の台風21・22号の影響により、収穫間際の圃場ほど深刻な被害となった。多くの圃場で襟元から倒伏(酷いものは折れ)が発生し、多くの生産者が過去に経験した中で「最悪の被害」と口をそろえる。また、台風以前からの長雨の影響もあり、圃場の冠水や止め土の崩れも各地で発生した。このような中、JAとして救済規格を設け、少しでも早期出荷を行い売り場の確保に努めています。

現在、さんむ中央Cで日量500ケース、やさいの里で日量250ケースの出荷がある。救済規格があるものの、皮剥きができないなど、出荷調整が困難なため、思うように数量は増えていない。出荷中の生産者でも1回の出荷量は例年の半分程度。多くの生産者は手直しに入っており、早くも12月以降の出荷となる見込み。11月中は現状維持か微増で推移する見込み。